



福島医発第 3223 号 (総)
平成 30 年 3 月 28 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松 田 峻一良
(公印省略)

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業について（報告・平成 29 年度その 2）

謹啓 春暖の候 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業につきまして、この度、新たに 2 件の情報について判定が行われた旨、日本医師会より別添のとおり報告がありましたので、過去の事例の判定結果と併せてお知らせいたします。

日本医師会では、患者さんからの相談や日常の診療から知り得た健康食品による健康被害に関する情報を会員からご提供いただき、日本医師会において審議し対応策をまとめて還元し、診療にお役立て頂くとともに、国民に対する周知・啓発活動が行われております。

つきましては、健康食品による健康被害と疑われる同様の事例の発生等がありましたら、日本医師会地域医療第 1 課（地域医療課：本年 4 月より名称変更）（TEL 03-3942-6137 FAX 03-3946-2140 担当：土屋、課長：青木）まで情報提供いただきますよう会員への周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、

- 1) 「健康食品安全情報システム」の内容や判定結果は、日本医師会ホームページメンバーズルームにも掲載されておりますことを申し添えます。
- 2) 標記事業への 2016 年 11 月 2 日判定以降の情報に関しては、本年の福岡県医報 4 月号にて、掲載する予定です。

小郡三井医師会より

医療安全管理担当理事 吉武靖博
会長 白石恒明

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業 事例一覧(平成22年度より平成30年3月7日現在まで)

- 1)この判定結果は、当該食品と健康被害との因果関係を断定するものではありません。
2)判定は、各情報(受付番号)ごとに行います。各情報中の個々の成分について行うものではありません。

										健康食品安全情報システム委員会による判定	
都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	判定実施日	判定結果
広島県	20170004	2018/1/18	2.女性	50代後半	次回判定時以降に記載予定	同左	同左	同左	同左	2018/3/8	判定保留
埼玉県	20170003	2017/12/28	2.女性	60代前半	米酢・リンゴ酢・柿酢・梅酢	右胸部の異常知覚、右足の筋力低下(急速進行)。医大にて視神経脊髄炎と診断	2.不明	4.重大な症状	2.軽快	2018/3/8	レベル2(要観察)
岡山県	20170002	2017/10/23	2.女性	80	グルコサミン	全身に2-3cm大の紅色斑の多発	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2018/3/8	レベル3(要監視)
福岡県	20170001	2017/4/6	2.女性	74	ポルトジンコ(南米原産ハーブ・ネットモールの園芸店販売HPにて効能記載あり)	薬物性肝障害	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2017/6/15	レベル4(注意喚起)
岩手県	20160004	2017/2/21	2.女性	65	蛸殻加工食品、アセロラ加工食品、植物濃縮物加工食品	肝機能悪化	2.不明	1.その他	1.回復	2017/6/15	レベル1(要保存)
愛知県	20160003	2016/07/12	1.男性	34	青黛(indigo naturalisなど)	大腸内視鏡で盲腸の異常血管増生像あり。症状はないが、他医の報告と合わせて右側結腸炎と考える。	4.医学的に推定	4.重大な症状	3.未回復	2016/11/2	レベル4(注意喚起)
愛知県	20160002	2016/6/10	2.女性	48	プロテイン(人工甘味料・VC・亜鉛)、MSM、ヘム鉄、サプリ(ブラセンタ・CoQ10・エラスチン・コラーゲン・コンドロイチン)	アトピー性皮膚炎の悪化・急激な体重減少・米小麦アレルギーがないのに除去を行っている。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2016/6/22	レベル4(注意喚起)
東京都	20160001	2016/5/23	2.女性	26	アサイー、クエン酸(酸化防止剤)	腹部・背部の多形紅斑	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2016/6/22	レベル4(注意喚起)
愛知県	20150005	2016/02/20	2.女性	41	玄米胚芽・表皮、玄米、麹菌、貝カルシウム、スビルリナ	湿疹、じんま疹、肝機能異常	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2016/5/10	レベル3(要監視)
愛知県	20150004	2016/02/19	2.女性	69	玄米胚芽・表皮、玄米、麹菌、貝カルシウム 大麦若葉末、ぶどう糖 ビルベリー・カシス・ルテイン・アスタキサンチン・メグスリノキ 野草	顔面、両手、両上肢、腹部、両下肢の紅斑、皮疹、そう痒	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2016/5/10	レベル4(注意喚起)
東京都	20150003	2016/02/10	1.男性	56	フェロキノン(VK)。製品ホームページ上では台湾の花連産の黄金しじみ	ワーファリン服用中だが、2013年7月頃からPT-INRの値が不安定となっており、ワーファリンの増量が急に必要となった。半年前から「シジミ習慣」を飲み始めており、その影響が疑われたため中止したところ、PT-INRの値は安定した。株式会社自然食品に問い合わせたところ、「シジミ習慣」12粒当たりVK(フィロキノン)を0.15μg含有しているとの回答あり。	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2016/5/10	レベル4(注意喚起)
愛知県	20150002	2016/02/09	2.女性	67	黒酢		2.不明	未記入	5.その他	2016/04/06	不実施
石川県	20150001	2015/04/17	2.女性	65	麹菌培養エキス、パパイア、有胞子性乳酸菌	製品を飲んだところ、かゆみを伴った皮疹が両大腿部と上肢に出現、やめたら出なくなった。まさかと思い、再度飲んだところ再び皮疹が出現した。	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2015/4/23	レベル4(注意喚起)
愛知県	20140003	2014/12/19	2.女性	61	サメ軟骨抽出粉末(コンドロイチン・Ⅱ型コラーゲン含有)、グルコサミン(カニ・エビ由来)、セルロース、ショ糖脂肪酸エステル、酵素処理ルチン、酸化ケイ素、光沢剤	顔面手足の紅斑、浮腫 全身のそう痒	4.医学的に推定	4.重大な症状	2.軽快	2015/4/23	レベル4(注意喚起)
神奈川県	20140002	2014/12/16	2.女性	15	リボフラビン酪酸エステル(ビタミンB2酪酸エステル)、ピリドキシン塩酸塩、アスコリビン酸、L-システイン、ヨクイニンエキス、ニコチン酸アミド、ピオチン、添加物	発熱 MAX39.6℃	2.不明	1.その他	1.回復	2015/02/05	保留

広島県	20140001	2014/12/16	3.不明	61	オルチニン	11/14 特定健診でAST46,ALT71, γ-GTP178,HBsAG(-),HCV(-),アルコール 歴なし、オルチニンを中止し、 11/25 AST18,ALT17,γ-GTP82	2.不明	1.その他	1.回復	2015/02/05	レベル1(要 保存)
東京都	20130009	2014/1/20	2.女性	73	ロイヤルゼリー グルコサミン ビタミンB1誘導体フルスルチアミン、ビタミンB6、 ビタミンB12、ビタミンE 穀物麹 ごま酢 桑の葉 コエンザイムQ10 カルシウム うなぎ肝臓 ビタミン類	大量腹水、黄疸(軽度)、急性肝不全(非 昏睡型)、肝類洞閉塞症候群、肝生検未 施行ですがエコーCT, MR施行。	無記入	4.重大な症状	3.未回復	2014/1/30	不実施
未記入	20130008	2014/1/9	2.女性	90	グルコサミン、軟骨骨抽出物、発酵コラーゲン分 解物	H25/9/14 定期血液検査でγ-GT45と上 昇あり。9/20受診時にサプリメント中止を 指示していた。サプリメント内服開始(H 25/6)～10月まで自覚、他覚症状は著変 なし。11月体調不良で緊急入院となり、現 在フィッシャー症候群として他院入院中の ようです。	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル2(要 観察)
栃木県	20130007	2014/1/6	2.女性	67	ローズヒップ抽出物(ビタミンC1500mg パイオフ ラボノイド150mg ローズヒップ抽出物(マルチビタミン、ミネラル) アスタキサンチン(海洋生物に存在する色素、カ ロテノイドの一種)、ビタミンE、ビタミンC)	2013年9月中旬より3種類のサプリメント を飲み始めた。10月中旬より左第2 指、4指に腫脹や疼痛が出現した。症状 が続いたため、10月下旬にサプリメント を中止したところ、軽快した。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル3(要 監視)
滋賀県	20130006	2013/11/15	2.女性	46	プロボリス、分離大豆たんぱく、蜂蜜、アーモンド フレーバー、セルロース、リン酸Ca、微粒酸化ケ イ みつばち花粉、蜂蜜、セルロース 分離大豆たんぱく、果糖、アミノゲン、大豆油、亜 鉛酵母、セレン酵母、アロエベラ、レシチン(大豆 由来)、クロム酵母、ビール酵母、スピルリナ、イ ヌリン、リン酸Ca、香料、リン酸Na、ナイアシン、 パントテン酸Ca、葉酸、ビタミンA、ビタミンB1、 ビタミンB2、ビタミンB6、ビタミンB12、ビタミン C、ビタミンD、増粘剤(グアーガム)、甘味料(ス クラロース、ステビア) アロエベラジェル、イソマルトオリゴ糖、レモン・ラ イム、クエン酸、酸化防止剤(VC、VE)	10/17よりサプリメント服用開始。10/31両 掌皮膚炎があり中止。両掌指間、手掌に 小水泡を認め、その後落屑、発赤、かゆ みは少ない。	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル3(要 監視)
愛知県	20130005	2013/10/03	2.女性	60	コエンザイムQ10	閉経後の不正出血、これまでに複数経験 した報告ですから、上記身長体重などの 数値は例です。	4.医学的に推定	1.その他	6.未記入	2014/1/30	不実施
熊本県	20130004	2013/10/15	2.女性	70	黒酢濃縮粉末	胃粘膜病変(黒酢によると思われる胃炎)	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2014/1/30	不実施
兵庫県	20130003	2013/09/24	2.女性	74	コエンザイムQ10	平成25年2月26日より、コエンザイムQ 10を服用し始め、3月下旬より下痢が現 れ、続くため、5月11日に血液検査を 行ったところ、GOT452μ/l、GPT992μ/l に異常高値を認め、同剤の服用中止を指 示、同剤による肝障害と診断。	4.医学的に推定	1.その他	2.軽快	2013/10/31	レベル4(注 意喚起)

埼玉県	20130002	2013/09/16	3.不明	84	クマザサ	薬疹、手足(発赤、水泡を伴う疹多発)を中心に、顔、耳、体に発赤	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2013/10/31	レベル4(注意喚起)
					昆布						
					サンゴカルシウム						
					乳酸菌						
					サメ軟骨						
兵庫県	20120005	2013/01/19	2.女性	80	ビタミンB1, 2, 6	高カルシウム血症による歩行障害(血清カルシウム 12.6)	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2013/10/31	レベル4(注意喚起)
					ヒアルロン酸含有鶏冠抽出物、ビタミンD						
					コラーゲンペプチド、乳糖、グルコサミン、セルロース、シヨ糖エステル						
					DHA300mg、EPA100mg、セサミン10mg、その他						
					間質性肺炎(慢性)、労作時息切れ(平成24年8月頃から)						
東京都	20120004	2012/11/14	1.男性	84	グルコサミン	1/26 GOT 18, GPT 15 7/11 GOT154 GPT 206 急激な肝機能異常で問い合わせた。 7/23 GOT 257 GPT 265	2.不明	1.その他	3.未回復	2012/11/14	レベル1(保存)
					天然ハスカップエキス、ブドウ種子エキス、モロヘイヤ、ビタミン類						
					不明(一般的には、青汁は、ケール、大麦若葉ないし明日葉など)						
					還元麦芽糖水飴、難消化性デキストリン、大麦若葉粉末、ゴーヤー粉末、ケール末、ビタミンC、ビタミンB群、ナイアシン、葉酸、甘味料						
					胆汁うっ滞型肝障害						
愛媛県	20110006	2011/11/24	2.女性	48	アサイーエキス末、グレープシードオイル、オリブ油、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル	平成17年頃から(顔以外)頭~体全体の発疹がでてかゆみがある。じんましん	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2012/11/14	レベル3(要監視)
					還元麦芽糖水飴、難消化性デキストリン、大麦若葉粉末、ゴーヤー粉末、ケール末、ビタミンC、ビタミンB群、ナイアシン、葉酸、甘味料						
					全身のかゆみ						
					胃の不調、黄疸(T-Bil 24.72 D-Bil 17.91)、劇症肝炎(PT 34.2%)、AST1906 ALT2418						
					2010年4月ごろよりアサイーを摂取した折、4月より肝機能の上昇あり。12月27日にはAST/ALT 45/81まで上昇した。3月22日診察時にアサイーの中止を勧め、中止したところ、徐々に肝機能の回復あり。ASTは正常、ALTは43まで低下した。この間、当院からの処方内容に変化ない。経過より、アサイーによる肝機能障害と診断した。						
茨城県	20110005	2011/06/13	1.男性	50	アサイーエキス末、グレープシードオイル、オリブ油、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。 尿蛋白(++)、沈査(nubecula) クレアチン高め、現在は正常範囲。	5.医学的検証済み	4.重大な症状	3.未回復	2011/09/29	レベル5(警告・禁止)
					クルクミン、秋ウコン末、春ウコン末						
					2010年4月ごろよりアサイーを摂取した折、4月より肝機能の上昇あり。12月27日にはAST/ALT 45/81まで上昇した。3月22日診察時にアサイーの中止を勧め、中止したところ、徐々に肝機能の回復あり。ASTは正常、ALTは43まで低下した。この間、当院からの処方内容に変化ない。経過より、アサイーによる肝機能障害と診断した。						
					アサイーエキス末、グレープシードオイル、オリブ油、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル						
					2010年4月ごろよりアサイーを摂取した折、4月より肝機能の上昇あり。12月27日にはAST/ALT 45/81まで上昇した。3月22日診察時にアサイーの中止を勧め、中止したところ、徐々に肝機能の回復あり。ASTは正常、ALTは43まで低下した。この間、当院からの処方内容に変化ない。経過より、アサイーによる肝機能障害と診断した。						
栃木県	20110004	2011/06/02	2.女性	62	グルコサミン塩酸塩、軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。 尿蛋白(++)、沈査(nubecula) クレアチン高め、現在は正常範囲。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/09/29	レベル3(要監視)
					独自ブレンド、ゼラチン他						
					ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン						
					フェヌグreekシード、ゼラチン						
					毎年乳がん検診を受けて、昨年まで異常な状態であったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6センチメートル大の進行乳がんを診断を受けた。						
静岡県	20110003	2011/05/17	2.女性	67	グルコサミン塩酸塩、軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。 尿蛋白(++)、沈査(nubecula) クレアチン高め、現在は正常範囲。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/05/20	レベル3(要監視)
					独自ブレンド、ゼラチン他						
					ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン						
					フェヌグreekシード、ゼラチン						
					毎年乳がん検診を受けて、昨年まで異常な状態であったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6センチメートル大の進行乳がんを診断を受けた。						
福岡県	20110002	2011/04/26	2.女性	32	グルコサミン塩酸塩、軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。 尿蛋白(++)、沈査(nubecula) クレアチン高め、現在は正常範囲。	2.不明	1.その他	3.未回復	2011/05/20	レベル3(要監視)
					独自ブレンド、ゼラチン他						
					ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン						
					フェヌグreekシード、ゼラチン						
					毎年乳がん検診を受けて、昨年まで異常な状態であったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6センチメートル大の進行乳がんを診断を受けた。						
愛知県	20110001	2011/04/11	1.男性	83	グルコサミン塩酸塩、軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。 尿蛋白(++)、沈査(nubecula) クレアチン高め、現在は正常範囲。	2.不明	2.局所的症状	2.軽快	2011/05/20	レベル2(要観察)
					独自ブレンド、ゼラチン他						
					ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン						
					フェヌグreekシード、ゼラチン						
					毎年乳がん検診を受けて、昨年まで異常な状態であったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6センチメートル大の進行乳がんを診断を受けた。						
青森県	20100002	2010/10/29	1.男性	63	グルコサミン塩酸塩、軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。 尿蛋白(++)、沈査(nubecula) クレアチン高め、現在は正常範囲。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2011/02/23	レベル3(要監視)
					独自ブレンド、ゼラチン他						
					ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン						
					フェヌグreekシード、ゼラチン						
					毎年乳がん検診を受けて、昨年まで異常な状態であったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6センチメートル大の進行乳がんを診断を受けた。						
福島県	20100001	2010/04/06	2.女性	61	グルコサミン塩酸塩、軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。 尿蛋白(++)、沈査(nubecula) クレアチン高め、現在は正常範囲。	1.関連なし	1.その他	6.未記入	2011/02/23	レベル1(要保存)
					独自ブレンド、ゼラチン他						
					ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン						
					フェヌグreekシード、ゼラチン						
					毎年乳がん検診を受けて、昨年まで異常な状態であったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6センチメートル大の進行乳がんを診断を受けた。						

日本医師会「食品安全に関する情報システム」モデル事業 事例一覧(平成18年度～21年度)

- 1)この判定結果は、当該食品と健康被害との因果関係を断定するものではありません。
 2)判定は、各情報(受付番号)ごとに行います。各情報中の個々の成分について行うものではありません。
 3)ご提供いただいた情報の中には医薬品に該当するものもありますが、検討の上、本モデル事業の対象とした事案があります。

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	1次判定		2次判定	
										判定実施日	1次判定結果	判定実施日	2次判定結果
沖縄県	20090009	2010/03/03	2.女性	64	豚ブラセンタ(胎盤)、αリポ酸、コエンザイムQ10、アスコルビン	肝障害	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2010/03/04	通常審議情報	2010/03/23	レベル2(要観察)
石川県	20090008	2010/01/05	2.女性	78	グルコサミン1200mg、サメ軟骨200mg、ケルセチン45mg	血中LDLコレステロール異常上昇	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2010/01/05	緊急審議情報	2010/03/01	レベル2(要観察)
青森県	20090007	2009/11/26	2.女性	69	ヒュウガトウキ(日本人参、Angelica furcijuga)ウコン	心窩部不快感と嘔気	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2009/11/26	緊急審議情報	2009/12/02	レベル4(注意喚起)
石川県	20090006	2009/10/06	2.女性	76	グルコサミン、麦芽糖、セルロース、ヒアルロン酸	9/9から1日3錠服用開始した。9/12に腹部、背部、腕、下肢に皮疹出現。9/14に服用中止したところ、9/18に皮疹が消失した。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2009/10/06	通常審議情報	2009/10/15	レベル3(要監視)
青森県	20090005	2009/07/06	2.女性	80	コンドロイチン ざくろ Fish Oil カルシウム	性器出血、子宮内膜肥厚	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2009/07/08	通常審議情報	2009/08/05	レベル4(注意喚起)
青森県	20090004	2009/06/17	2.女性	66	濃縮熟成ニンニク抽出液、ニンジンエキス、ゴオウチンキ、ロクジョウ流エキス、トシエエキス、イカリソウエキス	回転性のめまい、体のほてり、体重減少と共に血圧の変動を認めるようになった。	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2009/06/17	通常審議情報	2009/06/18	レベル4(注意喚起)
佐賀県	20090003	2009/3/9	2.女性	61	カニ甲殻、サメ軟骨、マメ科の植物(グルコサミン、コンドロイチン、ケルセチンプラス)	腕、両下肢、体全体の筋肉の衰えを自覚、ソワソワした不快感、体重減少(3kg)、足の震え	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2009/03/09	通常審議情報	2009/03/25	レベル3(要監視)
兵庫県	20090002	2009/01/27	1.男性	26	鉄分	健診目的で受診。肝機能障害(GOT50,GPT62,γ-GTP80)(2008.3.17 GOT24,GPT16,γ-GTP34)市立健診で肝機能異常なし。	2.不明	1.その他	2.軽快	2009/1/28	通常審議情報	2009/03/25	レベル2(要観察)
福島県	20090001	2009/01/07	2.女性	70	プロポリス、エタノール	A. 肝機能異常発見以前(05～07年:生化学検査)GOT、GPT、γ-GTP、総コレ、TG、HDL、クレアチニン、血糖・Hb1c 各異常なし B. 肝機能異常発見日(08/10/10)末梢血・生化学検査 末梢血:異常なし γ-GTP191IU/L(0～35)、GOT41IU/L(10～40)、GPT45IU/L(5～45)、HDL、TG、LDL、クレアチニン各異常なし、血糖・Hb1c異常なし。 C. その後の検査結果(一部略) 08/10/29:GOT45、GPT55、γ-GTP90	2.不明	1.その他	2.軽快	2009/1/8	通常審議情報	2009/03/25	レベル2(要観察)
千葉県	20080011	2008/11/20	2.女性	62	西洋カボチャ種子、クランベリー	股関節の痛みがひどくなり、日常生活に支障をきたすようになった。痛み止めを服用したところ、痛みが軽減した。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/11/20	通常審議情報	2008/11/20	レベル3(要監視)
石川県	20080010	2008/11/04	2.女性	67	グルコサミン塩酸塩	血中LDLコレステロール上昇	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2008/11/10	通常審議情報	2008/11/20	レベル3(要監視)
熊本県	20080009	2008/10/16	2.女性	89	グリコーゲン、含硫アミノ酸、ビタミン・ミネラル類 イチョウ葉エキス コエンザイムQ10 黒酢、ニンニク	急性肝機能障害(全身倦怠感、胸痛)。服用していた薬と食品を中止させ、点滴などの肝底療法を行って軽快した。	4.医学的に推定	4.重大な症状	2.軽快	2008/10/24	通常審議情報	2008/11/20	レベル4(注意喚起)

福岡県	20080008	2008/10/01	1.男性	43	マオウ、カンゾウ、レンギョウ、ダイオウ	＜当該製品は医薬品＞平成12年2月22日、GOT26、GPT26、γ-GTP61 8月30日、キッチンハイターの薄め液をコップ一杯誤って一気に飲んだ。その後気分不良なし。PM4:30、会社健診で採血、GOT92、GPT223、γ-GTP688を指摘される。 9月初め、肝機能異常値の連絡があったので、以後禁酒し(従来酒2～3合/日)、ダイエット漢方薬も中止した。 9月25日、再検査時に来院。 GOT26、GPT223、γ-GTP688	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2008/10/01	通常審議情報	2008/10/01	レベル4(注意喚起)
青森県	20080007	2008/09/24	2.女性	75	鮭白子抽出物、鮭脳下垂体抽出物	最近家族より物忘れが強くなったと言われ、服用する。服用により全身に発疹、中止すると改善する。 再び服用してから再び発疹を認める。	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2008/09/24	通常審議情報	2008/10/01	レベル4(注意喚起)
福岡県	20080006	2008/09/22	1.男性	81	ウコン	H9.6 γ-GTP(289) H18.7 GOT(138)、GPT(184)、γ-GTP(428)につき、飯塚病院でHCVⅡ抗体陽性につき H19.2北九州の病院でインターフェロンなどの治療を受けたが、以後消息不明	1.関連なし	1.その他	6.未記入	2008/09/22	通常審議情報	2008/10/01	レベル1(保存)
沖縄県	20080005	2008/08/20	2.女性	63	乳酸菌生成エキス(死菌)	全身の紫斑(特に下肢)、凝固異常	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2008/08/20	通常審議情報	2008/10/01	レベル3(要監視)
沖縄県	20080004	2008/04/15	2.女性	48	黒酢	肝機能障害 GOT39 GPT61 ALP395 γ-GTP69に各々上昇 服用中に黒酢のみ中止させたら全て正常化した。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/04/17	通常審議情報	2008/07/30	レベル3(要監視)
兵庫県	20080003	2008/03/04	2.女性	48	ダイオウ末、カノソウ末、ケイヒ末、センキュウ末、ソウジュツ末、シャクヤク末、ブクリヨウ末、トウキ末、コウブシ末、ゴシュユ、ハンゲ、ニンジン、コウカ	＜当該製品は医薬品＞ たまたま行った検査で肝障害を発見。 2007年6月14日、肝機能高値発覚、直ちに「命の母」の服用を止めさせ、プロヘパール2錠/日、ウルソを投与した。以前の薬はそのまま継続、2ヵ月後にほぼ正常値に回復した。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2008/03/04	通常審議情報	2008/03/19	レベル4(注意喚起)
岡山県	20080002	2008/02/25	2.女性	29	コーンシルクエキス末、ラフィノース、還元パラチノース、小麦抽出物、大豆タンパク、褐藻エキス末、シルクペプチド、ボスウェリアセラタ抽出物、ユッカエキス末、マカ末、グルコマンナン、カカオエキス末、L-カルニチンL-酒石酸塩、マテ茶エキス末、カロベプタイド、ブドウ種子エキス末、松樹皮エキス末、黒胡椒抽出物、トウガラシ末、L-グリシン、L-アルギニン、サイクロデキストリン、クエン酸、カフェイン(抽出物)	軀幹の圧迫部(ブラジャー、下着)、関節部(腋窩、鼠蹊)に丘疹多発、融合傾向、Kobner現象あり。腰では癩瘡様の丘疹を生じている。痒痒を伴う。	3.医学的に疑い	2.局所症状	2.軽快	2008/02/26	通常審議情報	2008/03/19	レベル3(要監視)
福岡県	20080001	2008/01/10	1.男性	72	生薬(センキュウ、モッコウ、シャクヤク、コウブシ、コウカ(紅花)、丹参(タンジン))	じんま疹	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2008/01/10	通常審議情報	2008/01/30	レベル2(要観察)
岡山県	20070029	2007/12/26	2.女性	23	αリボ酸、コエンザイムQ10の合剤	低血糖症状、インスリン自己免疫症候群(αリボ酸による)。空腹時に手の震えなどの低血糖様症状が出現。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2007/12/26	通常審議情報	2008/01/30	レベル5(警告・禁止)
千葉県	20070028	2007/12/03	2.女性	56	エリスリトール、ローヤルゼリー、マカエキス、スクラロース、クエン酸	マカ・ゴールド・ロイヤルゼリーを服用して咽気・動悸の発症。近医で急性胃炎と診断		3.全身的症状	2.軽快	2007/12/03	通常審議情報	2008/01/30	レベル1(保存)
千葉県	20070027	2007/12/03	2.女性	68	還元麦芽糖水飴 ビタミン ビタミン	市民健診時の肝障害。突然発症AST 293、ALT383、γ-GTP152		2.局所症状	6.未記入	2007/12/03	通常審議情報	2008/01/30	レベル1(保存)
岡山県	20070026	2007/11/05	2.女性	41	酵母エキス、コエンザイムQ10、ハス胚芽抽出物、乾燥ビール酵母	毛穴がつまり(脂肪?)同部に発疹を併発	3.医学的に疑い	2.局所症状	1.回復	2007/11/05	通常審議情報	2007/11/30	レベル3(要監視)
青森県	20070025	2007/11/01	3.不明	73	鮫軟骨 スピルリナ フラボノイド、イチヨウ葉エキス、松葉エキス、ホスファチジルセリン	特に症状なし。一般検診時肝機能異常を指摘、若干の易疲労感あり	4.医学的に推定	3.全身的症状	2.軽快	2007/11/05	通常審議情報	2007/11/30	レベル4(注意喚起)

石川県	20070024	2007/09/15	2.女性	58	グルコサミン、コンドロイチン、MSM(メチルサルフォニルメタン)、ヒアロコラーゲン、ヒアルロン酸、ビタミンスクアレン アルコキシグリセロール、オメガ3脂肪酸、ビタミンA、ビタミンE、ビタミンD	脂質コントロール悪化	4.医学的に推定	3.全身の症状	2.軽快	2007/09/19	通常審議情報	2007/11/30	レベル4(注意喚起)
兵庫県	20070023	2007/08/21	3.不明	71	グルコサミン(カニ由来)、デビルスクローエキ ス、セルロース、ショ糖脂肪酸エステル EPA含有精製魚油、ゼラチン、グリセリン、酸化 防止剤(ビタミンE) ササエキスパウダー(ササエキス、デキストリ ン)、セルロース、ショ糖脂肪酸エステル 大豆油、コエンザイムQ10、ビタミンE含有植物 油、茶抽出物、ゼラチン、グリセリン、グリセリン 脂肪酸エステル ギムネマ、プルラン 米胚芽油、紅コウジ末、サンフラワーオイル、ゼ ラチン、グリセリン、ミツロウ、レシチン ビルベリーエキス、ルテイン、カシス、ヒアルロン 酸、コラーゲン、DHA、DNA、コエンザイムQ-10、 イチョウ葉エキス、ラクトフェリン、β-カロテン、 ビタミンC、ビタミンB2、β-カロテン、ビタミンB 2、ビタミンB12、ビタミンE、コメ胚芽油、亜麻仁 油、ブドウ種子油、大豆レシチン、ミツロウ スビルリナ、ブルーイン、イースト マグネシウム、鉄 ビタミンB アルファルファ草 レシチン(大豆)、ゼラチン、グリセリン フラボノ(クリシン) 小麦胚芽油、ビタミンE含有植物油、ゼラチン、 グリセリン 貝カルシウム(ほたて)、ブドウ糖、粉末レモン果 汁、酵母、酸味料、ショ糖脂肪酸エステル、ビタ ミンk2、カゼイン、香料、ビタミンD サンフラワーオイル、カロチノイド[マリーゴールド 抽出物、トマト抽出物、藻類抽出物(デュナリエ ラ)、パーム油抽出物、ニンジン抽出物]、プロッ コリー芽エキス、グレープシードエキス、ゼラチ ン、ミツロウ、グリセリン スクワレン、セラミド含有小麦胚芽油、スターフ ルーツ葉抽出物、リンゴ抽出物、ハトムギ胚芽 油、ビタミンE含有植物油、ゼラチン、グリセリ ン、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル、着色料 (酸化チタン) フカヒレ軟骨抽出物、ボスウェリア抽出物、還元 麦芽糖、大豆ペプチド、デキストリン、ショ糖脂肪 酸エステル、とうもろこしたんぱく ブルーベリー 黒酢 グルコサミン	体幹、四肢にそう痒の強い紅斑と色素沈 着、紅色丘疹も見られ乾燥傾向も強く、 治療に抵抗。	3.医学的に疑い	3.全身の症状	2.軽快	2007/08/27	通常審議情報	2007/09/12	レベル3(要 監視)
千葉県	20070022	2007/08/17	2.女性	60	グルコサミン	定期採血時における突然の肝機能障害 発症(AST189、ALT152、LDH317)	3.医学的に疑い	3.全身の症状	6.未記入	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注 意喚起)
兵庫県	20070021	2007/08/13	1.男性	64	ウコン	3月(H19)より他人よりウコン譲渡され、 肝庇護目的で服用開始。飲酒も続けてい たが、6月上旬尿黄染増強し、6/22当院 受診。受診時黄疸認め、著明な肝機能異 常を認めた。「薬剤性肝障害(疑)」	4.医学的に推定	3.全身の症状	1.回復	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注 意喚起)
千葉県	20070020	2007/08/02	1.男性	48	グルコサミン、アセンヤク、オウゴン茎乾燥水製 エキス、セルロース、ビタミンE、高級脂肪酸、二 酸化ケイ素、クエルセチン、ルチン、ゼラチン	発熱、ぼーとする	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/08/23	通常審議情報	2007/09/12	レベル2(要 観察)

千葉県	20070019	2007/08/02	1.男性	73	ハブ茶、ハトムギ、玄米、どくだみ、大豆、ウーロン茶、柿の葉、クマザサ	糖尿病などにて治療中、平成19年3月3日当院に転送している。家人のすすめにて「毒だみ茶」を服用しているが、服用後必ず下痢症状を覚醒する。	2.不明	1.その他	2.軽快	2007/08/22	通常審議情報	2007/09/12	レベル1(保存)
岡山県	20070018	2007/07/26	2.女性	55	クロレアエキス、クマザサエキス、田七人参抽出液、着色料、プロピレングリコール、保存料、pH調整剤	下痢(該当食品を摂取するたびに30分くらいして発症する)	2.不明	1.その他	1.回復	2007/07/27	通常審議情報	2007/09/12	レベル1(保存)
兵庫県	20070017	2007/06/14	2.女性	78	トルマリン(ケイ酸塩鉱物のグループ名)	血清鉄増加	3.医学的に疑い	4.重大な症状	1.回復	2007/06/14	通常審議情報	2007/09/12	レベル4(注意喚起)
石川県	20070016	2007/06/01	2.女性	65	玄米・胚芽・表皮、大豆、スピルリナ、茸抽出濃縮液(霊芝、舞茸、椎茸、冬虫夏草)、牡蠣殻カルシウム	目の周囲、頸部に皮疹(かゆみなし)	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2007/06/01	通常審議情報	2007/06/13	レベル3(要監視)
石川県	20070015	2007/05/18	2.女性	80	玄米表皮、胚芽、大豆、玄米、スピルリナ、牡蠣殻カルシウム、麹菌	蕁麻疹	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2007/05/22	通常審議情報	2007/06/13	レベル3(要監視)
石川県	20070014	2007/04/24	2.女性	66	ピロリン酸第二鉄 サメヒレ軟骨エキス アガリクス	肝障害	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2007/04/24	通常審議情報	2007/06/13	レベル4(注意喚起)
青森県	20070013	2007/03/15	2.女性	58	プエラリア・ミリフィカ	腫部びらん	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2007/03/15	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
青森県	20070012	2007/03/06	3.不明	34	ザクロ マカ	なし(服用後の不快感のみ、動悸)	2.不明	1.その他	1.回復	2007/03/06	通常審議情報	2007/03/28	レベル1(保存)
沖縄県	20070011	2007/02/28	1.男性	62	ノニ(ヤエヤマアオキより抽出)	急性肝炎(めまい、食思不振、意識混濁)	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2007/02/28	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
長崎県	20070010	2007/02/27	2.女性	55	寒天、黒酢、アルファリボ酸	じんましん様発疹、皮膚かい痒	3.医学的に疑い	1.その他	2.軽快	2007/02/28	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
岡山県	20070009	2007/02/09	2.女性	69	プロポリス ビタミンC 大麦若葉粉末、桑の葉粉末、赤松葉粉末、トウモロコシ ローヤルゼリー アミノ酸 ヒアルロン酸 α-リポ酸 DHA(ドコサヘキサエン酸) マツ 田七人参、鯉内臓濃縮末、鮑貝殻エキス末、エビス草種子エキス末、菊花エキス末、クコの実エキス末、マリーゴールド色素、ハルコガネ花実エキス末、ヤマイモ末、ショウガエキス	肝機能障害	4.医学的に推定	3.全身的症状	1.回復	2007/02/13	通常審議情報	2007/03/28	レベル4(注意喚起)
岡山県	20070008	2007/02/02	2.女性	72	RNA、DNA、SAMENTO(キャッツクロウ)、コエンザイムQ10、ビタミン	ジンマシン出現	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/02/03	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
兵庫県	20070007	2007/02/02	3.不明	73	にんにく、卵黄	下腹部痛	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2007/02/03	通常審議情報	2007/03/28	レベル3(要監視)
兵庫県	20070006	2007/01/31	2.女性 2.女性	68 68	はちみつ シャークリバーオイル(スクアレン)	18年2月ごろより両手、射幹部、両足、小(紅)丘疹散発。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	1.回復	2007/01/31	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
青森県	20070005	2007/01/29	1.男性	79	不明 キトサン 黒酢	足がひび割れてつけなくなった(痛み)。糖尿の悪化かもしれません。	2.不明	1.その他	3.未回復	2007/01/30	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
兵庫県	20070004	2007/01/29	1.男性	88	卵	19日朝連続して3回下痢し、覇気なく、食べれるが普段から少量。	4.医学的に推定	2.局所的症状	1.回復	2007/01/30	通常審議情報	2007/01/31	レベル5(警告・禁止)
長崎県	20070003	2007/01/18	2.女性	70	ノニ(巴戟天・モリンダ)	肝機能障害 GOT42,GPT35,LDH246,ALP396,γ-	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2007/01/19	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
青森県	20070002	2007/01/16	2.女性	54	香酢		2.不明	1.その他	2.軽快	2007/01/17	通常審議情報	2007/01/31	レベル1(保存)
石川県	20070001	2007/01/10	2.女性	75	擬黒多刺蟻、山伏茸、山芋、サネブトナツメ、黒ゴマ、ショウガ	最近になり舌が荒れるようになった。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2007/01/11	通常審議情報	2007/01/31	レベル3(要監視)
岡山県	20060001	2006/11/23	2.女性	66	クロレラ	心原性脳塞栓症発症(左片麻痺、失語症)	5.医学的検証済み	4.重大な症状	5.後遺症	2006/11/24	緊急審議情報	2007/01/31	レベル5(警告・禁止)